

茨城県衛生研究所
平成28年度評価書

平成29年11月

茨城県衛生研究所

評価委員会

【様式6】

□総合評価

評価： A(3.3) 試験研究機関に期待される役割や目標等に照らし合わせ、質・量の両面において着実に取組みを実施していると判断できる。
検査機関と研究機関との2つの役割を期待される中、限られた人員で両方をバランスを取りながらマネジメントしているうちに、年度当初に設定した事業計画を上回る実績を上げている点は、大いに評価できる。若手職員の育成にも力を入れており、今後の取組み内容のさらなる充実が期待できる。 一方で、試験研究のテーマ選定や実施にあたり、いかに県民ニーズに応じて社会還元していくかという視点を常に持つことが望まれる。 また、研究計画については、計画期間の途中であっても、一定の成果が得られた段階で状況等を勘案しながら積極的に計画変更することは有益であるので、今後そのような取組みも検討されたい。

□項目別評価

i) 県民に対して提供する業務

1) 調査研究	評価： A
① 二枚貝が保有する下痢症ウイルスの把握と疫学解析 茨城県の有力な水産資源である二枚貝の安全確保の上で有益な研究テーマに取り組んでいる。 研究実施計画に沿ってウイルス検査及び遺伝子解析を適切に進めており、ウイルスの検出及び遺伝子型の解析の結果が適切に得られているものと認める。 当初の想定と異なる結果が得られたことを踏まえて、今後さらに研究を進め、ウイルス量や人に対する病原性の高さの推定など、県民の健康リスクの管理に役立つ成果を挙げることを期待する。	
② 柑橘類等の残留農薬多成分一斉分析法に関する調査研究 残留農薬の検査について、試験適合数を増加させつつ、時間、使用器具数、有機溶媒使用量及びコスト等を削減できる一斉分析法の確立に向けて成果が出ているものと認めるが、統計学的手法による解析結果のまとめや、他県の事例との比較などについても行うことが望まれる。 引き続き、分析可能な農薬と対象柑橘類の拡大や、代替可能な分析機器の検討に向けて、研究を進められたい。	
2) 試験検査	評価： A
計画検査、行政依頼検査ともに、数多くの検体を取扱い、検査機関としての役割を着実に果たしているものと認める。 突発的に検査の実施が必要になった場合にも対応できるよう、他機関との連携等、体制の構築・強化に努められたい。	
3) 相談業務	評価： A
保健所、医療機関、高齢者福祉施設等からの相談に対して専門機関として適切に助言や指導を行い、求められる役割を果たしているものと認める。 相談内容について分析し、今後の研究や広報活動に向けての参考としていただきたい。	
4) 研究成果等の活用促進	評価： A
学会や協議会での発表、学会誌への投稿に努め、目標数を上回っていることに加え、研究成果による試験検査法を行政検査業務に導入している点が評価できる。 引き続き成果の発表及び社会還元にも努められることを期待する。 また、機関誌だけでなく学術誌への投稿や、衛生研究所単独による投稿等にも挑戦していただきたい。	
5) 外部人材育成、教育活動	評価： AA
目標数を超える研修会を開催し、保健所や医療機関等の職員に対して技術、専門知識及び最新情報等を提供するとともに、大学生・大学院生及び衛生検査機関等から研修生を積極的に受入れており、指導的役割をよく果たしているものと認める。	
6) 広報・普及啓発	評価： A
ホームページの充実や出前講座、パネル展示等を行い、広報に努めているものと認める。 今後は、保健衛生に対する県民全体の関心をさらに高めるために、普及啓発活動を水戸周辺からより広い地域に拡げていくこと、および内容をより分かりやすく広報していくことが望まれる。	

ii)業務の質的向上, 効率化のために実施する方策

1)全体マネジメント

評価: A

検査機器の整備, マニュアルの作成, 定期外部監査の受検, 職員間の情報共有等, 適切なマネジメントの実施に努めているものと認める。
衛生研究所は重大な病原微生物や化学物質を取り扱うので, 内部汚染はもとより外部汚染防止の取組をさらに強化していくことを期待する。

2)県民ニーズの把握

評価: A

保健所等の関係機関と定期的な意見交換を行い, 衛生研究所に求められるニーズの把握に努めているものと認める。
茨城県は農業や水産業が盛んであるので, そのような分野における保健衛生に一層貢献できるよう, 関係部局等との連携の強化を期待する。

3)他機関との連携

評価: AA

国立感染症研究所等の研究機関, 県内外の医療系大学, 他県の衛生研究所等との連携をはかり, 共同研究や研究協力を積極的に行っているものと認める。
なお一層の連携強化を進め, 成果を上げることを期待する。

4)調査研究費の獲得

評価: A

競争的資金等の獲得に向けて体制整備を進めているとともに, 今年度から新たに民間の競争的資金を獲得したことを評価する。
採択に向けたノウハウの蓄積に努め, さらに様々な助成機関に申請していくことを期待する。

5)内部人材育成

評価: AA

若手研究員の能力・資質向上及び研究機会の確保のために, 内部研修のほか, 外部研修や学会に参加する機会を全研究員を対象に確保するとともに, 大学院博士課程での就学機会も用意しており, 内部人材の育成に積極的に取り組んでいるものと認める。

【様式7】整理表(項目別評価)

		研究所等の自己評価		衛生研究所 評価委員会評価																																																																																																																																	
評価項目(年度実施計画)		計画達成の状況		評価	評価における特記事項																																																																																																																																
i) 県民に対して提供する業務	1) 調査研究	A	<p>○質・量の両面において概ね平成28年度計画を達成</p> <p>1 二枚貝が保有する下痢症ウイルスの把握と疫学解析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度は376個の二枚貝から153検体、環境水を24検体、合計177検体を作成してウイルス検査を実施した。その結果、二枚貝からはノロウイルスGIIが6検体、アストロウイルスが1検体から検出された。環境水からはノロウイルスGIIが2検体、アストロウイルスが3検体、アデノウイルスが4検体、エンテロウイルスが1検体から検出された。 ・平成27年度の検体について遺伝子解析を実施した結果、ノロウイルスGIはGI.3、GIIはGII.3、GII.4、GII.17、サボウイルスはGI、アストロウイルスは1型が検出された。 ・ヒトから検出される割合の少ないノロウイルスGI及びアストロウイルスがカキや水から検出されたことから、不顕性感染が多いことが推察された。 <p>2 柑橘類等の残留農薬多成分一斉分析法に関する調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AOAC採用の迅速分析法を用いて測定したところ、測定機器への汚染と検体に含まれるマトリックスの影響が見られたため、分析法の改良を行った。改良した分析法を用いてグレープフルーツにおける妥当性評価を実施したところ、147農薬中143農薬で選択性、真度、精度、定量限界が適合となり、妥当性が確認できた。 ・GC-MS分析対象農薬についてLC-MS/MSで質量分析条件の検討を行い、測定可能な農薬を整理し、行政検査項目ではより感度向上に向け条件の検討を行った。 	A	○質・量の両面において概ね平成28年度計画を達成																																																																																																																																
	2) 試験検査	A	<p>○質・量の両面において概ね平成28年度計画を達成</p> <p>1) 試験検査の内容</p> <p>○ 計画検査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茨城県食品衛生監視指導計画 ・茨城県医薬品等一斉監視指導実施要領 ・危険ドラッグ買上検査事業実施要領 等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>試験項目</th> <th>件数 (H28年度実績)</th> <th>衛生研究所 担当部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>食肉の試験検査</td><td>120検体</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>農産物漬物の試験検査</td><td>25検体</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>生食用鮮魚介類の試験検査</td><td>24検体</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>輸入食品の試験検査</td><td>111検体</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>夏期及び年末食品一斉取締りに係る食品の試験検査</td><td>159検体</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>認定小規模食品処理場微生物検査</td><td>290検体</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>県内産魚介類の寄生虫検査</td><td>137検体</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>水道水質調査事業に伴う試験検査</td><td>20検体</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>感染症流行予測調査事業に伴う試験検査</td><td>10検体</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>二枚貝中のノロウイルスの試験検査</td><td>731検体</td><td>ウイルス部</td></tr> <tr><td>県内流通医薬品等の試験検査</td><td>30検体</td><td>ウイルス部</td></tr> <tr><td>従来医薬品の試験検査</td><td>50検体</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>医療機器の試験検査</td><td>10検体</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>無承認無許可医薬品の試験検査</td><td>2検体</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>家庭用品の試買試験検査</td><td>2検体</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>指定薬物等の試験検査</td><td>50検体</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>食品の残留農薬試験検査</td><td>150検体</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>遺伝子組換え食品の試験検査</td><td>10検体</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>アレルギー物質の試験検査</td><td>145検体</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>食品添加物の試験検査</td><td>10検体</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>加工食品の放射性物質試験検査</td><td>48検体</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>水道水の放射性物質試験検査</td><td>134検体</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td></td><td>96検体</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td></td><td>222検体</td><td>理化学部</td></tr> </tbody> </table> <p>○ 行政依頼検査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茨城県感染症発生動向調査事業実施要項 ・茨城県結核予防計画 ・茨城県食中毒事故処理要領 等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>試験項目</th> <th>件数 (H28年度実績)</th> <th>衛生研究所 担当部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>感染症法に基づく届出に伴う疾患の試験検査</td><td>依頼なし</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td></td><td>127検体</td><td>ウイルス部</td></tr> <tr><td>感染症の発生の状況及び動向の把握に伴う試験検査</td><td>依頼なし</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td></td><td>269検体</td><td>ウイルス部</td></tr> <tr><td>感染症の発生予防及びまん延防止に伴う試験検査</td><td>511検体</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td></td><td>715検体</td><td>ウイルス部</td></tr> <tr><td>結核対策予防事業に伴う試験検査</td><td>82検体</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>保健所および衛生研究所に勤務する職員のB型肝炎検査</td><td>103検体</td><td>ウイルス部</td></tr> <tr><td>水戸及び土浦保健所におけるHIV即日検査</td><td>684検体</td><td>ウイルス部</td></tr> <tr><td>犬の狂犬病検査</td><td>5検体</td><td>ウイルス部</td></tr> <tr><td>化学物質に係る試験検査</td><td>依頼なし</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td></td><td>771検体</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>食中毒及び苦情食品に伴う試験検査</td><td>486検体</td><td>ウイルス部</td></tr> <tr><td></td><td>7検体</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>レジオネラ病防止に伴う試験検査</td><td>46検体</td><td>細菌部</td></tr> <tr><td>苦情・事故に伴う水質検査</td><td>28検体</td><td>理化学部</td></tr> <tr><td>イノシシ肉の放射性物質検査</td><td>15検体</td><td>理化学部</td></tr> </tbody> </table> <p>(2)検査体制及び品質保証体制の整備(後述)</p> <p>ii)業務の質的向上、効率化のために実施する方策</p> <p>1) 全体マネジメント イ 品質保証体制の整備 に記載</p>	試験項目	件数 (H28年度実績)	衛生研究所 担当部	食肉の試験検査	120検体	細菌部	農産物漬物の試験検査	25検体	細菌部	生食用鮮魚介類の試験検査	24検体	細菌部	輸入食品の試験検査	111検体	細菌部	夏期及び年末食品一斉取締りに係る食品の試験検査	159検体	理化学部	認定小規模食品処理場微生物検査	290検体	細菌部	県内産魚介類の寄生虫検査	137検体	細菌部	水道水質調査事業に伴う試験検査	20検体	細菌部	感染症流行予測調査事業に伴う試験検査	10検体	細菌部	二枚貝中のノロウイルスの試験検査	731検体	ウイルス部	県内流通医薬品等の試験検査	30検体	ウイルス部	従来医薬品の試験検査	50検体	理化学部	医療機器の試験検査	10検体	理化学部	無承認無許可医薬品の試験検査	2検体	細菌部	家庭用品の試買試験検査	2検体	理化学部	指定薬物等の試験検査	50検体	理化学部	食品の残留農薬試験検査	150検体	理化学部	遺伝子組換え食品の試験検査	10検体	理化学部	アレルギー物質の試験検査	145検体	理化学部	食品添加物の試験検査	10検体	理化学部	加工食品の放射性物質試験検査	48検体	理化学部	水道水の放射性物質試験検査	134検体	理化学部		96検体	理化学部		222検体	理化学部	試験項目	件数 (H28年度実績)	衛生研究所 担当部	感染症法に基づく届出に伴う疾患の試験検査	依頼なし	細菌部		127検体	ウイルス部	感染症の発生の状況及び動向の把握に伴う試験検査	依頼なし	細菌部		269検体	ウイルス部	感染症の発生予防及びまん延防止に伴う試験検査	511検体	細菌部		715検体	ウイルス部	結核対策予防事業に伴う試験検査	82検体	細菌部	保健所および衛生研究所に勤務する職員のB型肝炎検査	103検体	ウイルス部	水戸及び土浦保健所におけるHIV即日検査	684検体	ウイルス部	犬の狂犬病検査	5検体	ウイルス部	化学物質に係る試験検査	依頼なし	理化学部		771検体	細菌部	食中毒及び苦情食品に伴う試験検査	486検体	ウイルス部		7検体	理化学部	レジオネラ病防止に伴う試験検査	46検体	細菌部	苦情・事故に伴う水質検査	28検体	理化学部	イノシシ肉の放射性物質検査	15検体	理化学部	A
試験項目	件数 (H28年度実績)	衛生研究所 担当部																																																																																																																																			
食肉の試験検査	120検体	細菌部																																																																																																																																			
農産物漬物の試験検査	25検体	細菌部																																																																																																																																			
生食用鮮魚介類の試験検査	24検体	細菌部																																																																																																																																			
輸入食品の試験検査	111検体	細菌部																																																																																																																																			
夏期及び年末食品一斉取締りに係る食品の試験検査	159検体	理化学部																																																																																																																																			
認定小規模食品処理場微生物検査	290検体	細菌部																																																																																																																																			
県内産魚介類の寄生虫検査	137検体	細菌部																																																																																																																																			
水道水質調査事業に伴う試験検査	20検体	細菌部																																																																																																																																			
感染症流行予測調査事業に伴う試験検査	10検体	細菌部																																																																																																																																			
二枚貝中のノロウイルスの試験検査	731検体	ウイルス部																																																																																																																																			
県内流通医薬品等の試験検査	30検体	ウイルス部																																																																																																																																			
従来医薬品の試験検査	50検体	理化学部																																																																																																																																			
医療機器の試験検査	10検体	理化学部																																																																																																																																			
無承認無許可医薬品の試験検査	2検体	細菌部																																																																																																																																			
家庭用品の試買試験検査	2検体	理化学部																																																																																																																																			
指定薬物等の試験検査	50検体	理化学部																																																																																																																																			
食品の残留農薬試験検査	150検体	理化学部																																																																																																																																			
遺伝子組換え食品の試験検査	10検体	理化学部																																																																																																																																			
アレルギー物質の試験検査	145検体	理化学部																																																																																																																																			
食品添加物の試験検査	10検体	理化学部																																																																																																																																			
加工食品の放射性物質試験検査	48検体	理化学部																																																																																																																																			
水道水の放射性物質試験検査	134検体	理化学部																																																																																																																																			
	96検体	理化学部																																																																																																																																			
	222検体	理化学部																																																																																																																																			
試験項目	件数 (H28年度実績)	衛生研究所 担当部																																																																																																																																			
感染症法に基づく届出に伴う疾患の試験検査	依頼なし	細菌部																																																																																																																																			
	127検体	ウイルス部																																																																																																																																			
感染症の発生の状況及び動向の把握に伴う試験検査	依頼なし	細菌部																																																																																																																																			
	269検体	ウイルス部																																																																																																																																			
感染症の発生予防及びまん延防止に伴う試験検査	511検体	細菌部																																																																																																																																			
	715検体	ウイルス部																																																																																																																																			
結核対策予防事業に伴う試験検査	82検体	細菌部																																																																																																																																			
保健所および衛生研究所に勤務する職員のB型肝炎検査	103検体	ウイルス部																																																																																																																																			
水戸及び土浦保健所におけるHIV即日検査	684検体	ウイルス部																																																																																																																																			
犬の狂犬病検査	5検体	ウイルス部																																																																																																																																			
化学物質に係る試験検査	依頼なし	理化学部																																																																																																																																			
	771検体	細菌部																																																																																																																																			
食中毒及び苦情食品に伴う試験検査	486検体	ウイルス部																																																																																																																																			
	7検体	理化学部																																																																																																																																			
レジオネラ病防止に伴う試験検査	46検体	細菌部																																																																																																																																			
苦情・事故に伴う水質検査	28検体	理化学部																																																																																																																																			
イノシシ肉の放射性物質検査	15検体	理化学部																																																																																																																																			
3) 相談業務	A	<p>○質・量の両面において概ね平成28年度計画を達成</p> <p>○ 保健所からの相談では、社会福祉施設等で発生した集団感染事例について、まん延防止対策や消毒方法等の助言を行うとともに、疫学解析の方法等についても指導した。また、学会誌等への投稿についても助言した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関からの相談では、主にウイルス感染症についての相談が多く、原因ウイルスの探索や検査法についての相談に応じた。 ・老人福祉施設等からの相談では、感染症対策マニュアルの作成に係る技術指導を行った。 <p>○ 県民からの相談では、感染症情報センターへの相談が多くを占め、麻しん、ジカ熱、梅毒、日本脳炎等の感染症についてわかりやすく説明し、疑問や不安解消に努めた。</p>	A	○質・量の両面において概ね平成28年度計画を達成																																																																																																																																	

【様式7】整理表(項目別評価)

		衛生研究所																																			
		研究所等の自己評価																																			
評価項目(年度実施計画)		評価委員会評価																																			
		評価	評価における特記事項																																		
i) 県民に対して提供する業務	4)研究成果等の活用促進	AA	<p>○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現</p> <p>○各種学会等において発表および、学会誌等への投稿に努めた。また、これらの内容についてホームページに掲載し、積極的に成果の活用・普及促進に努めた。</p> <p>【実績】学会・研修会での発表:8回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茨城県内で検出されたH275Y/I 233K二重耐性変異A(H1N1)pdm09ウイルスについて:関東甲信静支部ウイルス研究部会 ・茨城県内のムンプスウイルス検出状況(2015年度~2016年7月):関東甲信静支部ウイルス研究部会 ・茨城県で過去4シーズンに検出されたノロウイルス遺伝子型G II.17の分子疫学:関東甲信静支部ウイルス研究部会 ・茨城県内ラーメン店内で発生したウエルシュ菌による集団食中毒事例について:関東甲信静支部細菌研究部会 ・茨城県内で発生した黄色ブドウ球菌による食中毒事例について:第44回茨城県食品衛生業務業績発表会 ・茨城県の高齢者施設で発生したバライフルエンザウイルス3型による集団感染事例の疫学解析:日本感染症学会(東日本地方会) ・茨城県で過去4シーズンに検出されたノロウイルス遺伝子型G II.17の分子疫学:第27回茨城県薬剤師学術大会 ・茨城県における水道水及び加工食品等の放射性物質試験検査結果について:第27回茨城県薬剤師学術大会 <p>【実績】学会誌等への投稿:7本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Molecular evolution of the capsid gene in human norovirus genogroup II. Sci Rep.2016 Jul.6;29400.doi:10.101038(共著) ・Influenza A(H1N1)pdm09 virus exhibiting enganced cross-resistance to oseltamivir and peramivir due to a dual H275/G147R substitution, Japan, March 2016. Euro Surveill 21(24);pii:30258,2016(共著) ・Characterization of an A(H1N1)pdm09 Virus Imported from India in March 2015. Jpn.Jinfect.Dis.,2106,69(共著) ・茨城県で過去4シーズンに検出されたノロウイルス遺伝子型G II.17の分子疫学, 国立感染症研究所;病原微生物検出情報(IASR), 2016年9月号 ・国内で流行したムンプスウイルスの分子系統学的解析, 国立感染症研究所;病原微生物検出情報(IASR), 2016年10月号 ・2016/17シーズン初めのインフルエンザ動向—茨城県, 国立感染症研究所;病原微生物検出情報(IASR), 2016年11月号 ・茨城県と川崎市における2016/17シーズンに検出されたヒトノロウイルスG II.P16-G II.2の分子疫学, 国立感染症研究所;病原微生物検出情報(IASR), 2017年1月号 <p>○第一期中期運営計画で取り組んだ調査研究(カンピロバクター属菌のPFGE法を用いた疫学に関する試験研究H25~H27)で確立した試験法を平成28年度から行政検査に導入し、精度の向上,検査日数の短縮化及び試薬代の削減を図った。</p> <p>(PFGE法:1検体あたりの削減・短縮効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試薬代:約1,200円削減(32%減) ・日数:5日から3日に短縮 	A	○質・量の両面において概ね平成28年度計画を達成																																
	5)外部人材育成,教育活動	AA	<p>○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現</p> <p>○保健所及び医療機関等を対象に「ゆうパックによる検体送付のための研修会」を計画的(3回)に実施し、技術的指導を行った。</p> <p>・保健所職員等を対象に外部講師を招聘し「ノロウイルス感染症の最新の知見」や「有毒植物による食中毒の最新の動向」の研修会を開催し、専門的知識及び最新の情報を提供した。</p> <p>【実績】研修会等:10回</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研修会-講座名</th> <th>対象者等</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ゆうパックによる検体送付のための新規担当者研修会</td> <td>医療機関,保健所担当者</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>ゆうパックによる検体送付のための新規担当者研修会</td> <td>医療機関,保健所担当者</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>新規感染症担当者研修会</td> <td>保健所職員</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>新規採用養護教諭研修講座(感染症の予防と管理)</td> <td>新規養護教諭</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>食肉衛生検査所職員への技術研修会</td> <td>食肉衛生検査所担当者</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>勉強会(ノロウイルス感染症の最新の知見)</td> <td>保健所職員</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>感染症予防衛生課講習会(感染症対策用防護用具の脱着法(実演))</td> <td>茨城県ベストコントロール協会員</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>保育施設等における感染症対策研修会(茨城県の感染症流行状況,保健施設等での集団発生状況)</td> <td>保育所,認定こども園,幼稚園等担当者</td> <td>142</td> </tr> <tr> <td>調査研究業績発表会-特別講演</td> <td>保健所職員,他県地方衛生研究所職員</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>ゆうパックによる検体送付のための更新者研修会</td> <td>医療機関,保健所担当者</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> <p>○研修生の受け入れでは、主に医療関係の学生を受け入れ、社会医学実習や地域保健実習に係る研修を7回(30名)実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常磐大学人間科学部健康栄養学科3年生を対象に「病原微生物学」の講義を実施した。(全16回,大学へ講師として派遣) ・食肉衛生検査所の職員を2名受け入れ、遺伝子解析技術等の研修を実施した。 	研修会-講座名	対象者等	参加者数	ゆうパックによる検体送付のための新規担当者研修会	医療機関,保健所担当者	40	ゆうパックによる検体送付のための新規担当者研修会	医療機関,保健所担当者	28	新規感染症担当者研修会	保健所職員	14	新規採用養護教諭研修講座(感染症の予防と管理)	新規養護教諭	26	食肉衛生検査所職員への技術研修会	食肉衛生検査所担当者	2	勉強会(ノロウイルス感染症の最新の知見)	保健所職員	45	感染症予防衛生課講習会(感染症対策用防護用具の脱着法(実演))	茨城県ベストコントロール協会員	65	保育施設等における感染症対策研修会(茨城県の感染症流行状況,保健施設等での集団発生状況)	保育所,認定こども園,幼稚園等担当者	142	調査研究業績発表会-特別講演	保健所職員,他県地方衛生研究所職員	40	ゆうパックによる検体送付のための更新者研修会	医療機関,保健所担当者	11	AA
研修会-講座名	対象者等	参加者数																																			
ゆうパックによる検体送付のための新規担当者研修会	医療機関,保健所担当者	40																																			
ゆうパックによる検体送付のための新規担当者研修会	医療機関,保健所担当者	28																																			
新規感染症担当者研修会	保健所職員	14																																			
新規採用養護教諭研修講座(感染症の予防と管理)	新規養護教諭	26																																			
食肉衛生検査所職員への技術研修会	食肉衛生検査所担当者	2																																			
勉強会(ノロウイルス感染症の最新の知見)	保健所職員	45																																			
感染症予防衛生課講習会(感染症対策用防護用具の脱着法(実演))	茨城県ベストコントロール協会員	65																																			
保育施設等における感染症対策研修会(茨城県の感染症流行状況,保健施設等での集団発生状況)	保育所,認定こども園,幼稚園等担当者	142																																			
調査研究業績発表会-特別講演	保健所職員,他県地方衛生研究所職員	40																																			
ゆうパックによる検体送付のための更新者研修会	医療機関,保健所担当者	11																																			

【様式7】整理表(項目別評価)

		研究所等の自己評価		衛生研究所 評価委員会評価																																																																				
評価項目(年度実施計画)		評価	計画達成の状況	評価	評価における特記事項																																																																			
i) 県民 に 対 し て 提 供 す る 業 務	6) 広報・普及啓発	AA	<p>○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現</p> <p>(1) 感染症情報センター</p> <p>○ 感染症発生動向調査事業に基づき、感染症の情報を日々収集・解析し、週報及び月報として定期的にホームページに掲載し、情報提供を行った。</p> <p>○ 県内での発生状況及び病原性の特徴をまとめ、随時ホームページ及び学校欠席者情報収集システムにより情報提供を行った。</p> <p>・感染症及び食品等に関する公衆衛生情報を新たに27テーマ掲載し注意喚起を行った。</p> <p>・ホームページの構成及び掲載内容を検討するため、ホームページ管理運営委員会を概ね3ヶ月に1回(計5回)開催し、わかりやすい情報が提供されるよう努めた。</p> <p>・流行期のインフルエンザ発生情報のページは、県全体の閲覧ランキングで上位となった(12月34位、1月23位、2月35位(7542位中))。</p> <p>(2) 県民意識の醸成</p> <p>・社会福祉施設等や食品衛生関係者等を対象に出前講座を実施した。</p> <p>【実績】 出前講座・研修会等: 8回</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日付</th> <th>講座・研修会名</th> <th>依頼者</th> <th>対象者</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月19日</td> <td>食中毒と食品衛生について 感染症対策について 夏季予防対策について</td> <td>水戸市シルバー人材センター</td> <td>会員</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>9月28日</td> <td>集団生活の場におけるノロウイルスやインフルエンザ等ウイルス感染症に対する正しい知識と感染対策について</td> <td>内原深敬寮</td> <td>従業員</td> <td>25名</td> </tr> <tr> <td>10月3日</td> <td>ウイルス感染症やその対策について</td> <td>植物質管理センター</td> <td>従業員</td> <td>70名</td> </tr> <tr> <td>10月27日</td> <td>ノロウイルスを食む食中毒予防対策について</td> <td>須賀食品衛生協会</td> <td>役員</td> <td>248名</td> </tr> <tr> <td>11月29日</td> <td>感染症予防と感染拡大予防対策について</td> <td>不厚会</td> <td>従業員</td> <td>19名</td> </tr> <tr> <td>12月19日</td> <td>ウイルス感染症とその予防法</td> <td>水戸市三の丸小学校</td> <td>PTA役員</td> <td>40名</td> </tr> <tr> <td>1月25日</td> <td>家庭での感染症対策の基礎</td> <td>守谷市社会福祉協議会</td> <td>職員・会員</td> <td>19名</td> </tr> <tr> <td>2月17日</td> <td>食中毒と食品衛生 ノロウイルスによる食中毒について</td> <td>日立商工会議所 実行会</td> <td>会員</td> <td>25名</td> </tr> </tbody> </table> <p>・県民情報センター(県庁)や健康プラザの展示コーナー等に延べ28テーマ展示し県民意識の醸成を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日付</th> <th>タイトル</th> <th>展示場所・イベント等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月~8月</td> <td>身近な食中毒~アニサキス~ 日本脳炎に注意しましょう 家庭用品の安全を守るために シカウイルス感染症(シカ病)に注意!!</td> <td rowspan="3">健康プラザ</td> </tr> <tr> <td>9月~11月</td> <td>腸管出血性大腸菌の分子疫学解析について 県民(はしか)にご用心! 危険ドラッグの取締強化について 梅毒が増えています!! レジオネラ菌の検査について</td> </tr> <tr> <td>12月~3月</td> <td>インフルエンザウイルスサーベイランスについて 無症状無菌感染集団の危険性について 水質水質分析が環境改善について</td> </tr> <tr> <td>10月22日 ~23日</td> <td>衛生研究所ってどんなところ? 腸管出血性大腸菌について インフルエンザとは 危険ドラッグの取締強化について</td> <td>いばらきのクスリ展 (イオンモール水戸内原)</td> </tr> <tr> <td>11月20日</td> <td>茨城県衛生研究所の概要 インフルエンザウイルスの検体採取法について 県民(はしか)にご用心! 結核菌の疫学解析 カンゼロバクター属菌のPFGE法を用いた疫学に関する試験研究事業</td> <td>平成28年度茨城県医療安全研修会 (県民文化センター)</td> </tr> <tr> <td>11月23日</td> <td>茨城県衛生研究所における病原体検出情報</td> <td>第16回後発医薬品使用促進セミナー (メディカルセンター)</td> </tr> <tr> <td>1月6日 ~31日</td> <td>茨城県におけるCampylobacter jejuniのPFGE法を用いた分子疫学解析 蚊媒介感染症に係る蚊の生息状況調査 茨城県衛生研究所における感染症サーベイランスシステムの活用 薬品製剤の規格不適合事例の検討</td> <td>県民情報センター県政広報コーナー (県庁)</td> </tr> </tbody> </table> <p>参考) 健康プラザ利用者数: 年間約40,000人</p>	日付	講座・研修会名	依頼者	対象者	参加人数	7月19日	食中毒と食品衛生について 感染症対策について 夏季予防対策について	水戸市シルバー人材センター	会員	30人	9月28日	集団生活の場におけるノロウイルスやインフルエンザ等ウイルス感染症に対する正しい知識と感染対策について	内原深敬寮	従業員	25名	10月3日	ウイルス感染症やその対策について	植物質管理センター	従業員	70名	10月27日	ノロウイルスを食む食中毒予防対策について	須賀食品衛生協会	役員	248名	11月29日	感染症予防と感染拡大予防対策について	不厚会	従業員	19名	12月19日	ウイルス感染症とその予防法	水戸市三の丸小学校	PTA役員	40名	1月25日	家庭での感染症対策の基礎	守谷市社会福祉協議会	職員・会員	19名	2月17日	食中毒と食品衛生 ノロウイルスによる食中毒について	日立商工会議所 実行会	会員	25名	日付	タイトル	展示場所・イベント等	6月~8月	身近な食中毒~アニサキス~ 日本脳炎に注意しましょう 家庭用品の安全を守るために シカウイルス感染症(シカ病)に注意!!	健康プラザ	9月~11月	腸管出血性大腸菌の分子疫学解析について 県民(はしか)にご用心! 危険ドラッグの取締強化について 梅毒が増えています!! レジオネラ菌の検査について	12月~3月	インフルエンザウイルスサーベイランスについて 無症状無菌感染集団の危険性について 水質水質分析が環境改善について	10月22日 ~23日	衛生研究所ってどんなところ? 腸管出血性大腸菌について インフルエンザとは 危険ドラッグの取締強化について	いばらきのクスリ展 (イオンモール水戸内原)	11月20日	茨城県衛生研究所の概要 インフルエンザウイルスの検体採取法について 県民(はしか)にご用心! 結核菌の疫学解析 カンゼロバクター属菌のPFGE法を用いた疫学に関する試験研究事業	平成28年度茨城県医療安全研修会 (県民文化センター)	11月23日	茨城県衛生研究所における病原体検出情報	第16回後発医薬品使用促進セミナー (メディカルセンター)	1月6日 ~31日	茨城県におけるCampylobacter jejuniのPFGE法を用いた分子疫学解析 蚊媒介感染症に係る蚊の生息状況調査 茨城県衛生研究所における感染症サーベイランスシステムの活用 薬品製剤の規格不適合事例の検討	県民情報センター県政広報コーナー (県庁)	A	○質・量の両面において概ね平成28年度計画を達成
			日付	講座・研修会名	依頼者	対象者	参加人数																																																																	
7月19日	食中毒と食品衛生について 感染症対策について 夏季予防対策について	水戸市シルバー人材センター	会員	30人																																																																				
9月28日	集団生活の場におけるノロウイルスやインフルエンザ等ウイルス感染症に対する正しい知識と感染対策について	内原深敬寮	従業員	25名																																																																				
10月3日	ウイルス感染症やその対策について	植物質管理センター	従業員	70名																																																																				
10月27日	ノロウイルスを食む食中毒予防対策について	須賀食品衛生協会	役員	248名																																																																				
11月29日	感染症予防と感染拡大予防対策について	不厚会	従業員	19名																																																																				
12月19日	ウイルス感染症とその予防法	水戸市三の丸小学校	PTA役員	40名																																																																				
1月25日	家庭での感染症対策の基礎	守谷市社会福祉協議会	職員・会員	19名																																																																				
2月17日	食中毒と食品衛生 ノロウイルスによる食中毒について	日立商工会議所 実行会	会員	25名																																																																				
日付	タイトル	展示場所・イベント等																																																																						
6月~8月	身近な食中毒~アニサキス~ 日本脳炎に注意しましょう 家庭用品の安全を守るために シカウイルス感染症(シカ病)に注意!!	健康プラザ																																																																						
9月~11月	腸管出血性大腸菌の分子疫学解析について 県民(はしか)にご用心! 危険ドラッグの取締強化について 梅毒が増えています!! レジオネラ菌の検査について																																																																							
12月~3月	インフルエンザウイルスサーベイランスについて 無症状無菌感染集団の危険性について 水質水質分析が環境改善について																																																																							
10月22日 ~23日	衛生研究所ってどんなところ? 腸管出血性大腸菌について インフルエンザとは 危険ドラッグの取締強化について	いばらきのクスリ展 (イオンモール水戸内原)																																																																						
11月20日	茨城県衛生研究所の概要 インフルエンザウイルスの検体採取法について 県民(はしか)にご用心! 結核菌の疫学解析 カンゼロバクター属菌のPFGE法を用いた疫学に関する試験研究事業	平成28年度茨城県医療安全研修会 (県民文化センター)																																																																						
11月23日	茨城県衛生研究所における病原体検出情報	第16回後発医薬品使用促進セミナー (メディカルセンター)																																																																						
1月6日 ~31日	茨城県におけるCampylobacter jejuniのPFGE法を用いた分子疫学解析 蚊媒介感染症に係る蚊の生息状況調査 茨城県衛生研究所における感染症サーベイランスシステムの活用 薬品製剤の規格不適合事例の検討	県民情報センター県政広報コーナー (県庁)																																																																						

【様式7】整理表(項目別評価)

評価項目(年度実施計画)	研究所等の自己評価		衛生研究所 評価委員会評価																																														
	評価	計画達成の状況	評価	評価における特記事項																																													
ii) 業務の質的向上・効率化のために実施する方策	1) 全体マネジメント	<p>A</p> <p>○質・量の両面において概ね平成28年度計画を達成</p> <p>ア 検査機器の整備</p> <p>○ 更新計画の見直しを行うとともに、計画に基づき機器整備を実施した。</p> <p>・倒立型ルーチン顕微鏡、サーマルサイクラー、超音波ビベット洗浄機、冷却遠心機、実体顕微鏡、冷蔵冷凍庫、バイオフリーザー、ロータリーエバポレーター、超音波洗浄器等</p> <p>イ 品質保証体制の整備</p> <p>(ア) 感染症法に係る検査体制の整備</p> <p>・感染症法の改正に伴う検査体制の整備のため、管理マニュアルを作成し、主管課の承認を受けた。</p> <p>(イ) 食品GLPに係る検査体制の整備</p> <p>・標準作業書(電子はかり、機器の管理、加工食品の放射性物質、食品添加物(指定外添加物TBHQ))を作成し、業務に反映するとともに、試験検査体制について関係法令等に基づく定期外部監査を受けた。</p> <p>(ウ) 医薬品PIC/Sに係る体制の整備</p> <p>・試験検査SOP(エナブリルマレイン酸塩錠定量試験、ピタバスタチンカルシウム錠定量試験、ナテグリニド錠溶出試験、フェキソフェナジン塩酸錠定量試験)の追加制定をした。</p> <p>・公的試験検査機関認定要件の定期確認結果に基づきSOPの見直しを行うとともに、PMDAによる確認を受けた。</p> <p>ウ 職員間における情報共有及び所内での定期的な進捗管理</p> <p>・若手研究員に対しては、計画検査や行政依頼検査に先立ち、トレーナーによる年間を通しての実務研修(OJT)により、業務の進捗管理を行った。</p> <p>・毎月開催している所内部長会議において、中期運営計画の進捗状況について確認した。</p> <p>エ 機関評価委員会及び調査研究・企画評価委員会による適正な評価</p> <p>・機関評価委員会(平成28年8月3日実施)</p> <p>・調査研究企画・評価委員会(平成28年8月3日実施)</p> <p>調査研究では、完了報告2題、新規課題2題について評価を受け、研究成果の普及や調査研究事業計画の見直し等に反映させた。</p>	A	○質・量の両面において概ね平成28年度計画を達成																																													
	2) 県民ニーズの把握	<p>A</p> <p>○質・量の両面において概ね平成28年度計画を達成</p> <p>・会議や研修会等の場を活用して、保健所及び関係機関と意見交換会を行い、年度計画や業務の進め方、食中毒・苦情対応の実態等を把握した。</p> <p>・各保健所に共同研究テーマの案内を送付するとともに、保健所長等会議で募集案内した。</p> <p>・平成29年3月17日に、健康プラザ、水戸保健所、精神保健福祉センターと合同で調査研究業績発表会を開催し、調査研究等事業内容の相互理解と協力を努めた。</p> <p>【実績】 意見交換会の実施:6回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生担当者会議 ・保健所の食品衛生課担当者の研究発表会 ・感染症・危機管理対策並びに疾病対策担当課長・担当者会議 ・新規感染症担当者研修会 ・衛生課長等会議生活衛生部会・薬務部会 ・調査研究業績発表会 	A	○質・量の両面において概ね平成28年度計画を達成																																													
	3) 他機関との連携	<p>AA</p> <p>○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現</p> <p>ア 国立研究機関</p> <p>実施計画に加え次の2テーマを新たに追加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物由来感染症のリスク分析に関する研究 ・小児の重症呼吸器感染症に関与するウイルス遺伝子の網羅解析 <p>イ 県立試験研究機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立医療大学医科学センター <p>ウ 他県の地方衛生研究所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都健康安全研究センター ・23機関と健康危機発生時相互応援関係協定を締結 <p>エ その他の研究機関、大学等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北里大学獣医学部実験動物講座 ・県内の5医療機関(筑波大附属病院 等) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>研究区分</th> <th>研究テーマ(研究代表者等)</th> <th>連携機関</th> <th>期間(年度)</th> <th>担当者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">研究協力</td> <td>迅速・網羅的病原体ゲノム解析法の開発及び感染症危機管理体制の構築に関する研究(奥田健)</td> <td rowspan="6">国立感染症研究所 感染症疫学センター</td> <td>H28~H30</td> <td>細菌部</td> </tr> <tr> <td>下咽頭ウイルスの分子生物学と感染制御に関する研究(片山知彦)</td> <td>H28~H28</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td>病原体及び宿主の相互作用とその機序を科学的にサポートするための実験室診断および臨床ネットワーク構築に関する研究(森田生)</td> <td>H28~H30</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td>迅速・網羅的病原体ゲノム解析法の開発及び感染症危機管理体制の構築に関する研究(奥田健)</td> <td>H28~H30</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td>ムンプスウイルスの遺伝解析と新規アッセイ法の検討(大石和哉)</td> <td>H27~H29</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td>動物由来感染症のリスク分析に関する研究(井上智)</td> <td>H28~H30</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">共同研究</td> <td>食品由来感染症の病原体情報の解析及び共有化システムの構築に関する研究(平井昭彦)</td> <td>東京都健康安全研究センター</td> <td>H27~H29</td> <td>細菌部</td> </tr> <tr> <td>小児の重症呼吸器感染症に関与するウイルス遺伝子の網羅解析(衛生研究所 土井育子)</td> <td>国立感染症研究所感染症疫学センター 県立こども病院 筑波大学附属病院 日立総合病院 つくばメディカルセンター病院 土浦協同病院</td> <td>H28~H30</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td>連携病院でのアンチバイオグラムの共有による地域包括的な感染症対策(衛生研究所 永田紀子)</td> <td>県立医療大学医科学センター(桜井直美)</td> <td>H26~H28</td> <td>企画情報部</td> </tr> <tr> <td>胃腸炎を呈するウイルスに関する研究(衛生研究所 本谷匠)</td> <td>北里大学獣医学部実験動物講座(佐々木直哉)</td> <td>H26~H29</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td>カフェイン摂取によるパーキンソン病症状抑制効果関連の解析(衛生研究所 石井貴司)</td> <td>常盤大学人間科学部健康栄養学科・基礎栄養学研究室(佐古克彦)</td> <td>H27~H29</td> <td>理化学部</td> </tr> </tbody> </table>	研究区分	研究テーマ(研究代表者等)	連携機関	期間(年度)	担当者	研究協力	迅速・網羅的病原体ゲノム解析法の開発及び感染症危機管理体制の構築に関する研究(奥田健)	国立感染症研究所 感染症疫学センター	H28~H30	細菌部	下咽頭ウイルスの分子生物学と感染制御に関する研究(片山知彦)	H28~H28	ウイルス部	病原体及び宿主の相互作用とその機序を科学的にサポートするための実験室診断および臨床ネットワーク構築に関する研究(森田生)	H28~H30	ウイルス部	迅速・網羅的病原体ゲノム解析法の開発及び感染症危機管理体制の構築に関する研究(奥田健)	H28~H30	ウイルス部	ムンプスウイルスの遺伝解析と新規アッセイ法の検討(大石和哉)	H27~H29	ウイルス部	動物由来感染症のリスク分析に関する研究(井上智)	H28~H30	ウイルス部	共同研究	食品由来感染症の病原体情報の解析及び共有化システムの構築に関する研究(平井昭彦)	東京都健康安全研究センター	H27~H29	細菌部	小児の重症呼吸器感染症に関与するウイルス遺伝子の網羅解析(衛生研究所 土井育子)	国立感染症研究所感染症疫学センター 県立こども病院 筑波大学附属病院 日立総合病院 つくばメディカルセンター病院 土浦協同病院	H28~H30	ウイルス部	連携病院でのアンチバイオグラムの共有による地域包括的な感染症対策(衛生研究所 永田紀子)	県立医療大学医科学センター(桜井直美)	H26~H28	企画情報部	胃腸炎を呈するウイルスに関する研究(衛生研究所 本谷匠)	北里大学獣医学部実験動物講座(佐々木直哉)	H26~H29	ウイルス部	カフェイン摂取によるパーキンソン病症状抑制効果関連の解析(衛生研究所 石井貴司)	常盤大学人間科学部健康栄養学科・基礎栄養学研究室(佐古克彦)	H27~H29	理化学部	AA
研究区分	研究テーマ(研究代表者等)	連携機関	期間(年度)	担当者																																													
研究協力	迅速・網羅的病原体ゲノム解析法の開発及び感染症危機管理体制の構築に関する研究(奥田健)	国立感染症研究所 感染症疫学センター	H28~H30	細菌部																																													
	下咽頭ウイルスの分子生物学と感染制御に関する研究(片山知彦)		H28~H28	ウイルス部																																													
	病原体及び宿主の相互作用とその機序を科学的にサポートするための実験室診断および臨床ネットワーク構築に関する研究(森田生)		H28~H30	ウイルス部																																													
	迅速・網羅的病原体ゲノム解析法の開発及び感染症危機管理体制の構築に関する研究(奥田健)		H28~H30	ウイルス部																																													
	ムンプスウイルスの遺伝解析と新規アッセイ法の検討(大石和哉)		H27~H29	ウイルス部																																													
	動物由来感染症のリスク分析に関する研究(井上智)		H28~H30	ウイルス部																																													
共同研究	食品由来感染症の病原体情報の解析及び共有化システムの構築に関する研究(平井昭彦)	東京都健康安全研究センター	H27~H29	細菌部																																													
	小児の重症呼吸器感染症に関与するウイルス遺伝子の網羅解析(衛生研究所 土井育子)	国立感染症研究所感染症疫学センター 県立こども病院 筑波大学附属病院 日立総合病院 つくばメディカルセンター病院 土浦協同病院	H28~H30	ウイルス部																																													
	連携病院でのアンチバイオグラムの共有による地域包括的な感染症対策(衛生研究所 永田紀子)	県立医療大学医科学センター(桜井直美)	H26~H28	企画情報部																																													
	胃腸炎を呈するウイルスに関する研究(衛生研究所 本谷匠)	北里大学獣医学部実験動物講座(佐々木直哉)	H26~H29	ウイルス部																																													
	カフェイン摂取によるパーキンソン病症状抑制効果関連の解析(衛生研究所 石井貴司)	常盤大学人間科学部健康栄養学科・基礎栄養学研究室(佐古克彦)	H27~H29	理化学部																																													

【様式7】整理表(項目別評価)

評価項目(年度実施計画)		研究所等の自己評価		衛生研究所 評価委員会評価	
		評価	計画達成の状況	評価	評価における特記事項
ii) 業務 の 質 的 向 上 ・ 効 率 化 の た め に 実 施 す る 方 策	4) 調査研究費の獲得	A	<p>○質・量の両面において概ね平成28年度計画を達成</p> <p>試験検査と調査研究を柱に、さらなる資金獲得と業務の効率化を図ることを念頭に、地域特性に着目した適切な計画、また調査研究により確立された試験検査法を行政検査に反映できるよう、所内部長会議を活用し、十分な検討を重ねて計画立案を進めている。</p> <p>・外部資金の獲得については、継続して活用中の1事業に加え、平成28年度より新たに民間の競争的資金として、公益法人大同生命厚生事業団地域保健福祉研究助成金を獲得した。</p> <p>・外部資金を受け入れるため、茨城県衛生研究所助成金事務処理要領を作成した。</p>	A	○質・量の両面において概ね平成28年度計画を達成
	5) 内部人材育成	AA	<p>○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現</p> <p>(1) 研修・交流機会の確保 技術職員全員が、年1回以上、計画的に外部の研修に参加した。また、参加者は、研修内容について伝達講習を行い、一層の資質向上に努めた。</p> <p>(主な研修会)</p> <p>○技術研修 9研修 ・次世代シーケンサー解析研修 ・放射性物質検査に関する全国研修会 等</p> <p>○学会 12学会 ・日本感染症学会 ・日本食品微生物学会 ・日本ウイルス学会 ・日本農業学会 ・日本法中毒学会 等</p> <p>○地方衛生研究所全国協議会等 10研究会 ・全国衛生微生物技術協議会 ・全国衛生化学技術協議会 ・関東甲信静支部ウイルス研究部会 等</p>	AA	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現